

■ コメント

1. ヘルパンギーナ

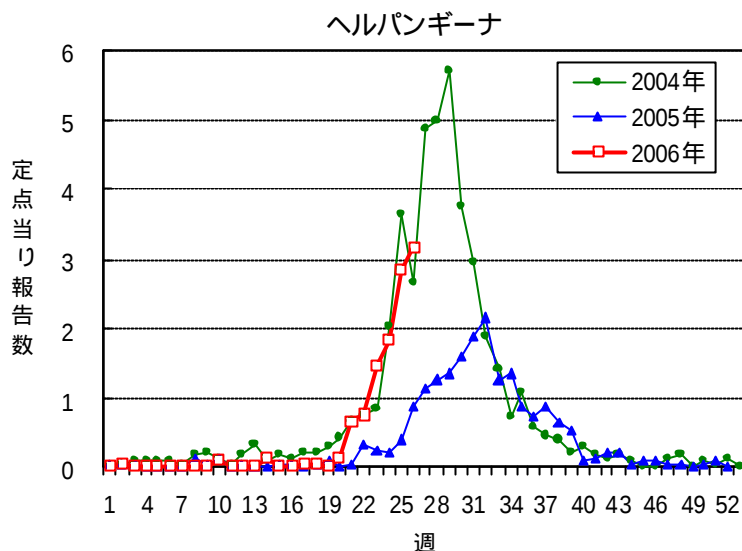
定点当り3.17人とやや増加しており6週続けて増加しています。安芸区12.0人、佐伯区6.7人と特に多く、中区4.0人となっています。

2. 感染性胃腸炎

定点当り5.75人とやや増加しています。安芸区では12.5人となっています。

3. 水痘

定点当り2.29人とやや減少していますが、例年同時期と比べて多くなっています。南区5.0人、安芸区4.5人、佐伯区3.7人となっています。



■ 5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号
インフルエンザ(注2)	15	0.41	0.01	◇	麻疹(注3)	-	-	0.05	
咽頭結膜熱	13	0.54	0.33		流行性耳下腺炎	27	1.13	1.14	◇
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	1.33	1.21	◇	RSウイルス感染症	-	-		
感染性胃腸炎	138	5.75	3.80	◇	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	55	2.29	1.43	◇	流行性角結膜炎	6	0.75	1.10	
手足口病	5	0.21	8.89		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	17	0.71	0.86	◇	無菌性髄膜炎	5	0.71	0.97	
突発性発疹	15	0.63	1.16		マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.11	
百日咳	-	-	0.04		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風疹	2	0.08	0.03		成人麻疹	-	-	0.03	
ヘルパンギーナ	76	3.17	3.44	◇					

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1)過去5年間の同時期平均(定点当り)
(注2)高病原性鳥インフルエンザを除く
(注3)成人麻疹を除く
(注4)オウム病を除く

■ 1類～5類感染症報告状況(全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	5	9	男性(20歳代)、男性(20歳代)、女性(10歳代)、女性(20歳代)、女性(40歳代) いずれもO157

■ 5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

		インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱 A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎 (注3)	クラミジア肺炎	成人麻しん
報告数	広島市	第22週	11	18	79	167	94	-	12	28	-	18	-	30	-	4	-	1	5	-	-
		第23週	8	24	62	125	79	8	9	20	1	35	1	34	-	1	4	2	5	-	-
		第24週	11	21	45	133	85	9	19	23	1	-	44	-	-	3	-	1	8	-	-
		第25週	20	16	36	109	66	11	21	22	1	-	68	-	-	2	-	9	10	-	-
		第26週	15	13	32	138	55	5	17	15	-	2	76	-	-	6	-	5	3	-	-
定点当り	広島市	第22週	0.30	0.75	3.29	6.96	3.92	-	0.50	1.17	-	0.75	-	1.25	-	0.50	-	0.14	0.71	-	-
		第23週	0.22	1.00	2.58	5.21	3.29	0.33	0.38	0.83	0.04	0.04	1.46	0.04	1.42	-	0.13	0.50	0.29	0.71	-
		第24週	0.30	0.88	1.88	5.54	3.54	0.38	0.79	0.96	0.04	-	1.83	-	1.21	-	0.38	-	0.14	1.14	-
		第25週	0.54	0.67	1.50	4.54	2.75	0.46	0.88	0.92	0.04	-	2.83	-	1.29	-	0.25	-	1.29	1.43	-
		第26週	0.41	0.54	1.33	5.75	2.29	0.21	0.71	0.63	-	0.08	3.17	-	1.13	-	0.75	-	0.71	0.43	-
全国		第24週	0.82	1.32	2.56	4.16	2.59	0.90	0.70	0.71	0.02	0.01	2.69	0.01	1.55	0.04	1.07	0.02	0.05	0.46	0.01
		第25週	0.65	1.36	2.21	3.74	2.31	1.16	0.72	0.76	0.01	-	3.56	0.01	1.74	0.04	1.23	0.03	0.09	0.46	0.01

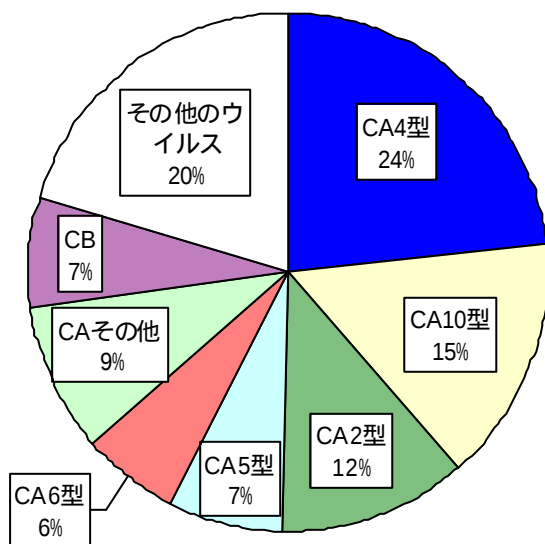
(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

■ 新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
麻しん(疑)	1	男	2006/05/14	咽頭拭い液	麻疹ウイルス
肺炎	4	女	2006/05/19	鼻汁(拭い液)	ヒトメタニューモウイルス
喘息様気管支炎	0	男	2006/05/22	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス

【参考】広島市でヘルパンギーナの患者から検出されたウイルス

(1982年～2005年)



CA : A群コクサッキーウイルス

CB : B群コクサッキーウイルス

ヘルパンギーナは、主にA群コクサッキーウイルスを病原体とし、発熱と口の中に水疱ができることが特徴です。咽頭結膜熱や手足口病とともに、いわゆる「夏かぜ」の代表的な疾患です。

広島市では、1982年～2005年に、231人のヘルパンギーナの患者からウイルスが検出されました。このうちA群コクサッキーウイルスが73%を占めており、その中で最も多い型は4型(24%)で、続いて10型(15%)、2型(12%)、5型(7%)、6型(6%)の順となっています。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2006年第26週(6月26日～7月2日)